

Special Lecture
DTF国際ワークショップin諏訪
長野県産業振興機構／JETRO諏訪



インドとの付き合い方 10ヶ条 Do's & Don'ts

磯貝 富夫

日印関係アドバイザー 関西日印文化協会 副会長
Kochhar法律事務所 ジャパンデスク非常勤顧問
元シャープ(株)勤務、**Sharp India Ltd.** 社長

Okaya, 18th October, 2023



特集 これから跳ねる！インド・新興国経済



16 スズキやヤマハなど大增産

新興市場への生産・輸出拠点に

20 「等身大」のインド経済

中間層拡大で消費のけん引期待

22 モディ政権の光と影 経済改革と保護主義が交錯

28 「ものづくり立国」 スマホ、自動車産業育成へ補助金

30 デジタル政府 進む行政サービスのオンライン化

33 争奪戦 日本企業、IT人材に虎視眈々

34 デジタル通貨 2023年3月までに発行

35 「3言語学ぶインド式 数学やIT指導にも注力」

36 日本の『高度人材育成』に力

38 インド株ETF インド株価指数は10年で3倍上昇

40 インド株投信 「内需、インフラ関連」など多種多様

インドの人材を呼び込め



36 インドの人材を呼び込め 停滞ニッポンに活力

中国を抜き世界一の「人口大国」に

37 人口増も、日本での在留者は少ない

38 課題を踏まえて見直しが議論されている

技能実習・特定技能制度の仕組み

39 日本で働いた人材に第三国での就労機会も

41 難関のインド工科大学(IIT)は各地に
キャンパスを構える

43 潜在能力の高い人材が豊富

複眼

Opinion

「インドの世紀」は本物か

モデ、フランスは歴史、文化、経済、政治を訪問して米国の「フリス」を訪問した。今後は日本の経済力、文化、政治、歴史を訪問して米国の「フリス」を訪問した。今後は日本の経済力、文化、政治、歴史を訪問して米国の「フリス」を訪問した。

世界の運命、決める「強国」

[illegible][illegible][illegible]

対中国でのみ連携できる

[illegible][illegible]

サンジャナ・ジョシ氏



Sanjana Joshi 印ネル
ー大学で国際関係学の修士
号を取得。インドの代表的
な政策調査機関で経済や通
商を分析

ベトナムがマレーシアから来たたまたまの「インド」を感じた。だが今では、「インドにこそ機会を握るべし」と企業界のインドは変わった。インドに生産拠点を販売網を確立したい、まずはインド人を満足させることがいわれている。

内閣巨大への期待はもうろくなぬ。加えて、米中対立の中で不透明な中国事業に代わってインドの重要性が増している。地政学と経済学の組み



新アメリカ安全保障
センター上級研究
アドバイザー

リサ・カーティス氏



Lisa Curtis トランプ政権下で南・中央アジア上級部長を約4年間務めた。日米豪印の枠組み「クアッド」に注力した

の関係を21世紀で最も重要な
とは思わない。米国が他国と
の関係を評価する上で、中国と
という一つの産物だけで評価
すべきではない。ウクライナ
侵攻で明確になったように米
国との違いは鮮明だ。一方で
米国は中立的な立場を維持す
るインド外交なんだんと受け
入れられている。

G20サミットの議長国を務
めるインドはグローバルサウ
スへの利益という観点で議論

インドが人口で中国を抜き、世界首位に躍り出た。「グローバルサウス」と呼ばれる新興国・途上国のリーダーを自任し、9月には20カ国・地域(G20)首脳会議の議長国を務める。急速な経済成長も相まって存在感を増す姿は「インドの世紀」の到来を意味するのか。

ASEAN以西の中心に



やすなが・たつお 83
東京大工学。三井物産で主
にプラント部門を歩み、
15年社長、21年会長。日経
経済委員会委員長を務める。

[illegible][illegible]

アンカー

インのジョージ・シヤンカ
外相は最近の著書で、1947年
の独逸の4大「キヤスターと
カール」が獨逸の力を奪った
が獨逸の力を奪ったと、中國に
勢力擴張を許す原因になった
と論じて、70年余にわたって
これに中國が反意を高く掲
げ、ジョシカ示すような後
進的な自由主義を主張する

米歐日本から見て、イン
ドは重要な地位が存在する
と、國土保全主義を主張する
が、ロシアのウクライナ
侵襲に口をついて、民主
国家だ人が人権擴張が目立
つ。經濟が成長しつつ、自由
に成長しつつ（「戰略的自律」
は独逸と表裏一体とされる

価値より実利の重視は、
ロシアやウクライナの歴史的
勢だ。そのゆえにとどまる
に得ず失くはるはいつしか
に獨逸を奪うことになる
に類大の力なきでな
んか悲観や失望を示せる
其の大国には必要であら

（編集委員 高橋 隆）

真の大国へ必要な理念

米欧や日本からみて、インドは重要だが完全な主権者でもある。領土保全と主権を叫びながら、ロシアのウクライナ侵攻に口をつくも、民主国家だから人権擁護が叫び立つ。経済が成長しつつ、自由化には後ろ向きだ。「覇権の自律」は独善と表裏一体をいえる。

特集 インドが世界を回す



16 インドが世界を回す 覚醒する14億人経済

18 PROLOGUE : そしてインドだけになった

20 PART 1 : 金融・消費が様変わり

デジタル大国へ跳ぶ

24 COLUMN 1 : 数字で比べるインドと中国

インドの製造業に伸びしろ

26 PART 2 : 半導体・太陽電池・…

悲願の国産化へ本気

30 PART 3 : 印僑のヒトとカネ

米国との蜜月支える

34 COLUMN 2 : インド進出に受難の歴史

第一三共・ドコモもなめた苦汁

36 PART 4 : インドを橋頭堡にアフリカを攻略せよ

40 EPILOGUE : インドの心をつなぎ留めろ

海外勤務経歴(延29年)

インド滞在は11年超

経歴（勤務地）

担当業務

得られた知識、ノウハウ

■ 84-89年

主席駐在員

英語・アラビア語による業務



サウジアラビア（ジエッダ）

家電事業担当

異文化理解、交渉力

■ 90-95年

事業部門長

パソコンスキル（EXCEL）



アメリカ（ニューヨーク）

経営管理

経営管理（PSI, P/L）

■ 95-00年

販売会社支店長

全商品のマーケティング・英語



メキシコ

営業譲渡/経営

拠点立ち上げ、組織運営

■ 06-08年

販売会社社長（中近東エリア担当）

経営知識全般



アラブ首長国（ドバイ）

新規事業開拓

経営革新、人的ネットワーク構築

■ 11年-16年

社長・副社長（COO）

現地人による経営



インド（ニューデリー/プネ）

新規事業開拓・新規生産工場立ち上げ 人材育成

■ 16年9月帰国

シャープ(株)を定年退職

→17年4月インドで独立

本日お話ししたいこと

- ① 海外生活で学んだこと
異文化を理解するための6つの行動指針
- ② 日本とインド、遠くて近い友人
- ③ 2050年の日本を見据えて
なぜインドと組むことが最も重要なのか(①~⑤)
- ④ 日本とインドの違い
真逆だからこそ補完し合える
- ⑤ インドビジネスを成功させるヒント
付き合い方10ヶ条 Do's & Don'ts

日本人が見ている世界地図



世界が見ている世界地図

世界が見ている日本は地球の端の小さな存在！



Japan is located in the Far East(極東)



アラブの「5A」とは？

by Tomio Isogai

1Aー あ せらず

2Aー あ てにせず

3Aー あ などらず

4Aー あ たまにきても

5Aー あ きらめず

世界中どこにでも通用する心構え

アメリカン・マーケティングの“KISS”とは？

Just ...

Keep

It (製品やサービス)

Simple,

Stupid

世界中どこにでも通用するマーケティングの基本

異文化を理解するための6つの行動指針

by Tomio Isogai

- ①その国に溶け込め（日本人とばかり付き合うな）
- ②その国の歴史と文化を知れ（史跡観光も大事）
- ③マナーを心得よ（宗教をあなどるな）
- ④生活スタイルを知れ（ローカルの日線で）
- ⑤現地人より市場を知れ（定点観測が有効）
- ⑥日本を知れ（貴方は日本を代表している）

インドは遠くて近い友人



インドの基本情報

面積 328万7,263 平方Km2 (世界7位)

人口 14億756 万人 (2021 年世銀 世界2位)
(2023年に14億3千万人 世界1位 国連予測)

名目GDP 3兆1,763億ドル (世界5位 世銀)

(2027年には日本を抜き3位 IMF予測)

GDP成長率 8.7% (2021年インド政府)

「インド・台頭するグローバルパワー」外務省南西アジア課2023年3月

首都 ニューデリー (New Delhi)

民族 アーリア族、ドラビダ族、**モンゴロイド族**

言語

連邦公用語はヒンディー語

他に憲法で公認されている州の言語が21

宗教

ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、
キリスト教徒2.3%、シーク教徒1.9%、仏教徒
0.8%、ジャイナ教徒0.4%

出所) Know Your India by Rahul Vishwanath Karad

インドを理解すると世界が分かる！

インド人って皆ターバンしてるの？



インド映画に登場している俳優と女優

インドは遠くて近い友人



インドの基本情報

面積 328万7,263 平方Km2 (世界7位)

人口 14億756 万人 (2021 年世銀 世界2位)
(2023年に14億3千万人 世界1位 国連予測)

名目GDP 3兆1,763億ドル (世界5位 世銀)

(2027年には日本を抜き3位 IMF予測)

GDP成長率 8.7% (2021年インド政府)

「インド・台頭するグローバルパワー」外務省南西アジア課2023年3月

首都 ニューデリー (New Delhi)

民族 アーリア族、ドラビダ族、**モンゴロイド族**

言語

連邦公用語はヒンディー語

他に憲法で公認されている州の言語が21

宗教

ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、

キリスト教徒2.3%、**シーク教徒1.9%**、仏教徒

0.8%、ジャイナ教徒0.4%

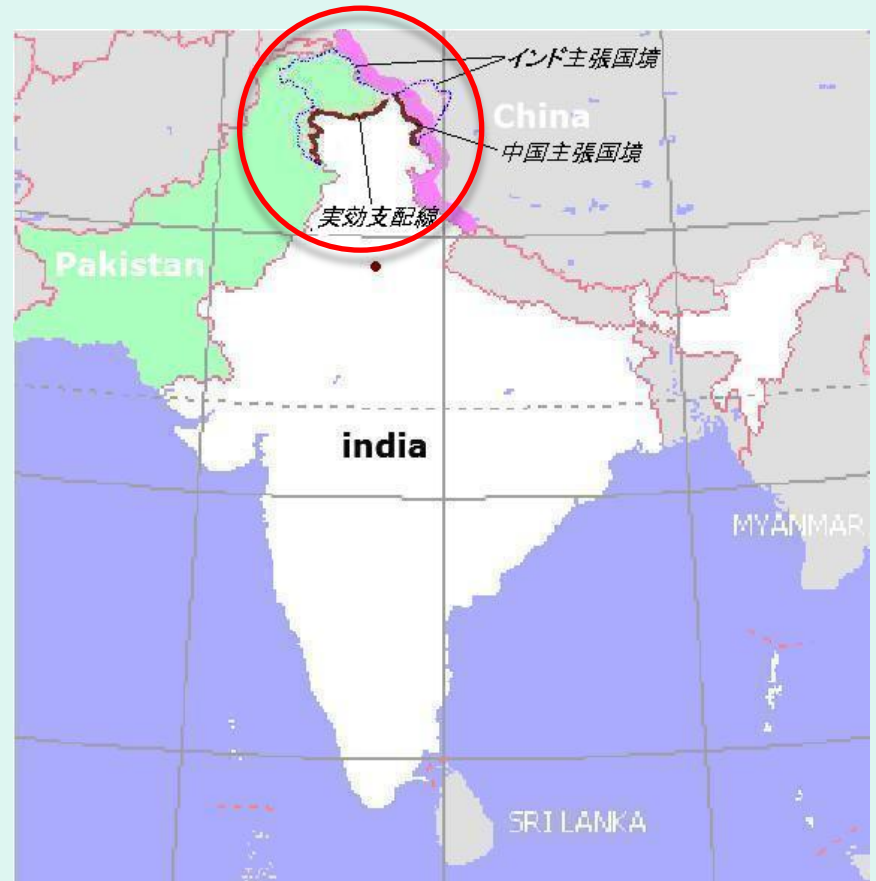
出所) Know Your India by Rahul Vishwanath Karad

インドを理解すると世界が分かる！

Map of India---最も注意すべきこと



インド主張領土



パキスタン・中国主張領土

隣国との領土紛争に注意と配慮が必要

World Map from the **Global** Standard



相手に対する細かい配慮＝グローバルマインド

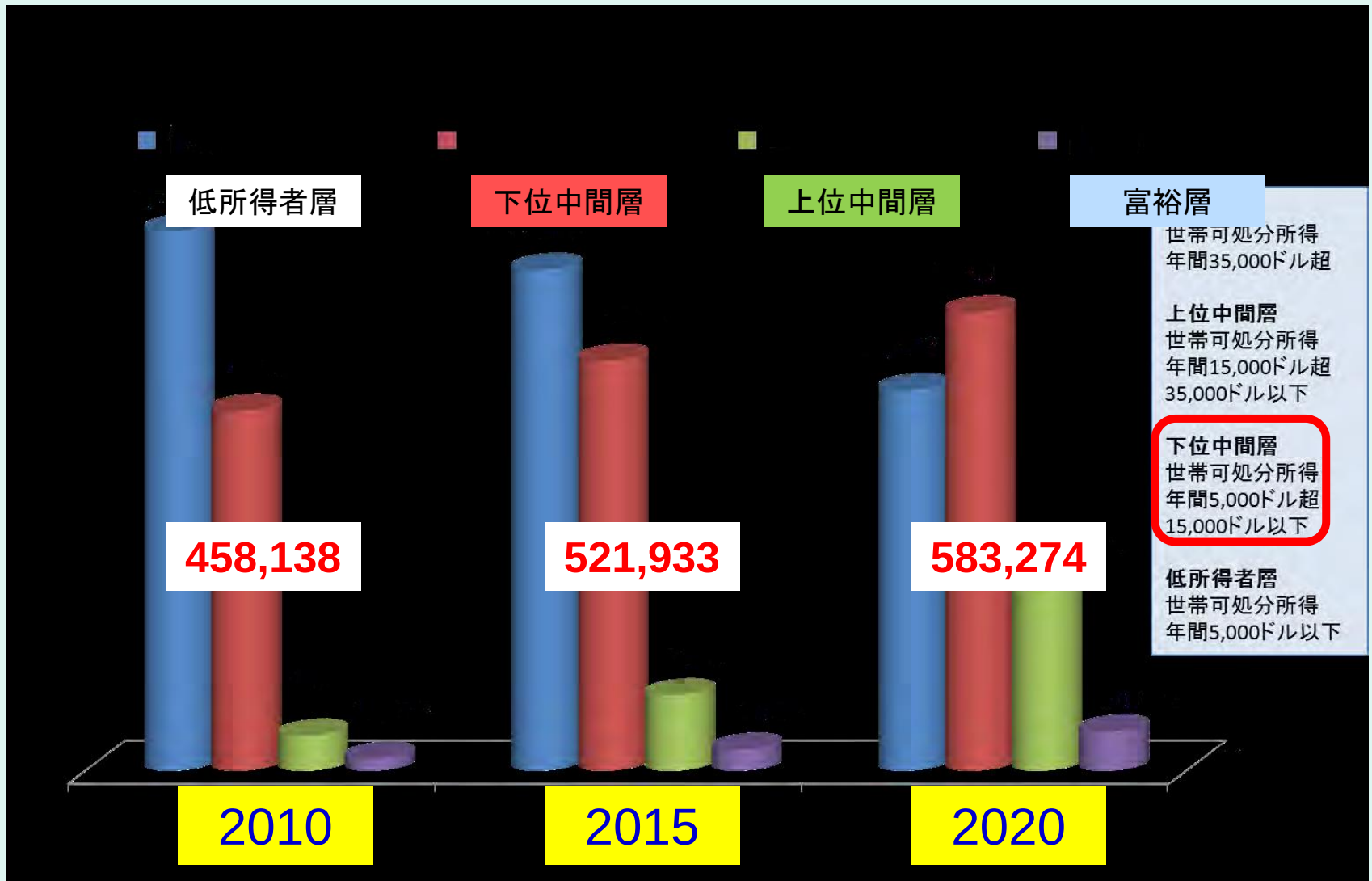
なぜインドなのか？(その①)



【インドの魅力】消費の多様化
各種のインターネットショッピングも 活発化



【インドの魅力】中間層の増加



2016年2月5日インドIT人材活用セミナー JETRO 企画部 鈴木隆史氏 of 了解を得て転載

結論: インドは今後ますます投資先として重要性和魅力が高まっていく市場

【JBIC国際協力銀行レポート 2023年3月】

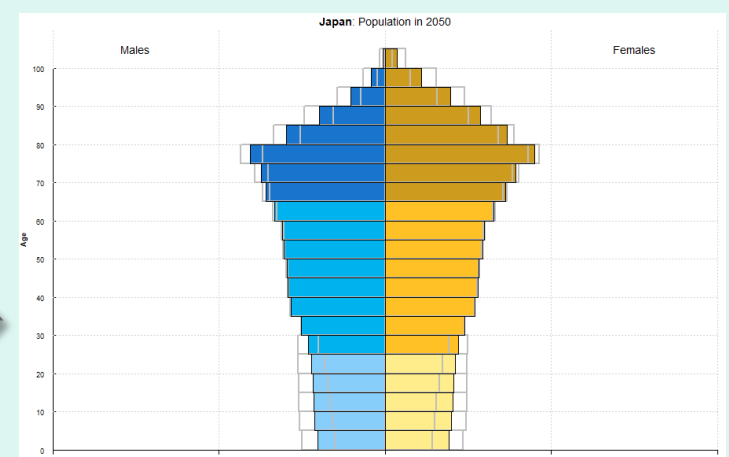
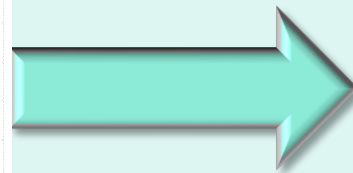
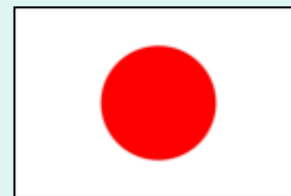
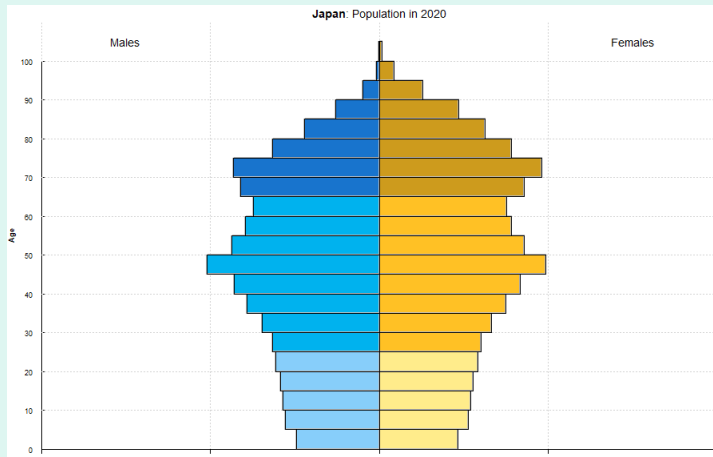
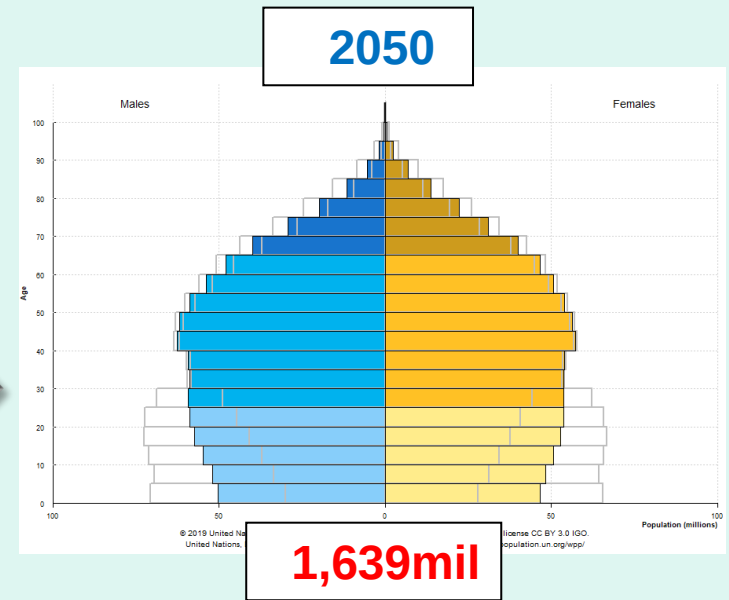
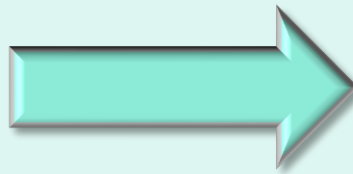
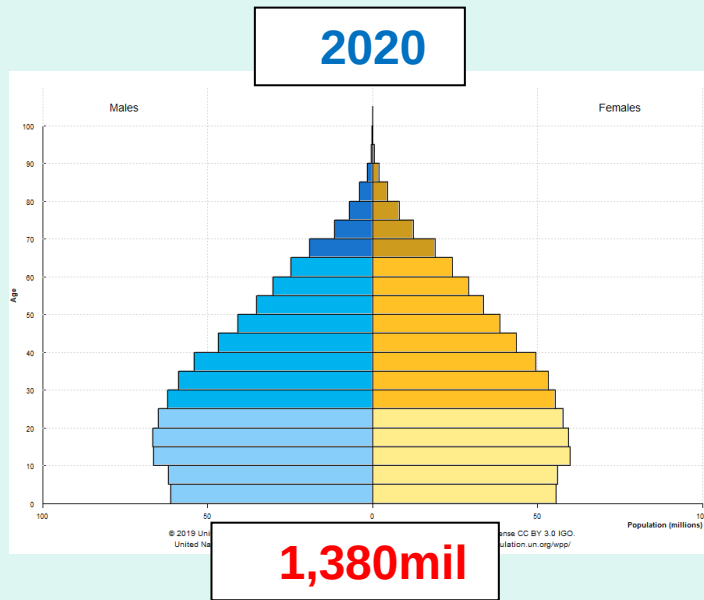
中期的な有望事業展開先国・地域(今後3年程度)

順位			国・地域名	回答者数(社)		得票率(%)	
2022		2021		2022	2021	2022	2021
1	↑	2	インド	148	131	40.3	38.0
2	↓	1	中国	136	162	37.1	47.0
3	—	3	米国	118	113	32.2	32.8
4	—	4	ベトナム	106	105	28.9	30.4
5	—	5	タイ	85	77	23.2	22.3
6	—	6	インドネシア	77	67	21.0	19.4
7	↑	9	マレーシア	31	27	8.4	7.8
8	↓	7	フィリピン	28	31	7.6	9.0
9	↓	8	メキシコ	27	30	7.4	8.7
10	—	10	台湾	23	19	6.3	5.5

中国とインドが首位を入れ替わり、インドが得票率を2.3ポイント増加させて2019年以来3年ぶりの1位。
中国は得票率で－9.9ポイントと大幅下落し、2位に。

2022年度 海外直接投資アンケート調査結果(第34回)

2050年にインドの人口は16億超！



磯貝： 日本の若年人口の減少は高齢化社会を支えきれない。
インドの有り余る高学歴若年層に頼るしかない！

日本の将来推計人口(令和5年推計)

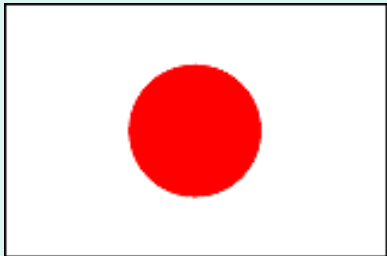
総人口は50年後(2070年)に現在の7割に減少し。65歳以上人口はおおよそ4割を占める。前回推計よりも出生率は低下するものの、平均寿命が延伸し、外国人の入国超過増により人口減少の進行は僅かに緩和。

- ① 合計特殊出生率は低下(1.44⇒1.36、2020年1.33)、
平均寿命(女性91.35⇒91.94、男性84.95⇒85.89)
外国人入国超過数は増加(外国人比率2.2%⇒10.8%)
- ② 総人口は50年後に現在(126mil)の7割(87mil)に減少、
65歳以上人口はおおよそ4割(28.6%⇒38.7%)
- ③ 出生高位および低位の仮定による推計ならびに
日本人のみの人口に限定した場合の推計(2070年)
高位仮定(出生1.64) 人口954.9mil 高齢化率35.3%
低位仮定(出生1.13) 802.4mil 42.0%
日本人限定人口(中位推計) 776.1mil 40.9%

なぜインドなのか？(その②)

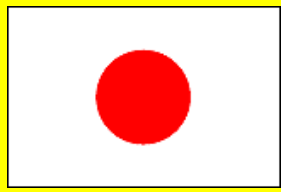
第16 回日印首脳会談 2023

特別戦略的グローバルパートナーシップ



平和で安定し繁栄した 新型コロナ後の
世界のためのパートナーシップ

Hiroshima 20th May, 2023



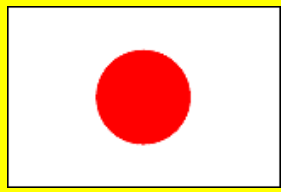
第15回日印首脳会談 2023



岸田総理大臣の政策スピーチ

(「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」のための新たなプラン)
インド世界問題評議会(ICWA)において、政策スピーチ「インド太平洋の未来～『自由で開かれたインド太平洋』のための日本の新たなプラン～“**必要不可欠なパートナーであるインドと共に**”」

- ① 国際社会が歴史的な転換期⇒国際社会を分断と対立ではなく協調に導くという目標⇒FOIPの考え方は従来以上に重要
- ② 「自由」と「法の支配」の擁護、「多様性」、「包摂性」、「開放性」(「対話によるルール作り」、「イコールパートナーシップ」、「共創の精神」)
- ③ 新たな「4つの柱」(①平和の原則と繁栄のルール、②インド太平洋流の課題対処、③多層的な連結性、④「海」から「空」へ広がる安全保障・安全利用の取組)
- ④ ODAの戦略的活用を推進し、様々な形でODAを拡充(2030年までインフラ面で750億ドル以上の資金をインド太平洋地域に動員)
- ⑤ **必要不可欠なパートナーであるインドと共に**、ASEANなど多くの国と協働(G7議長としてG20の成功のためにインドに協力)



第15回日印首脳会談 2023



日本語教育分野に関する協力覚書の更新

3月20日（現地時間同日）、インドのニューデリーにおいて、鈴木浩駐インド日本国特命全権大使とヴィナイ・モハン・クワトラ・インド外務省次官（Mr. Vinay Mohan Kwatra, Foreign Secretary, Ministry of External Affairs）との間で「**日本国外務省とインド共和国外務省との間のインドにおける日本語教育分野に関する協力覚書**」への署名が行われました。

この覚書は、インドにおける日本語教育の推進を目的として**2017年9月に署名した協力覚書の更新**を行うものです。

この覚書により、日印両国政府、関係機関で日本語教育の拡充に関する取組を更に推進させていく考えです。

日印友好の証

相互信頼と尊敬による強い絆がここにある



インド外相の奥様は日本人の**KYOKO**さん！
どうりで日印関係は**強固**な訳ですよ。

なぜインドなのか？(その③)

日米豪印、AIや半導体で連携へ... 開発やルール主導で中国に対抗

日米豪印4か国の協力枠組み「**Quad**(クアッド)」は、人工知能(AI)や半導体などの最先端技術分野での連携を強化する。**台頭する中国に対抗し**、民主主義など共通の価値観を持つ4か国が協力し、国際的な研究開発競争やルール形成を主導する狙いがある。今月13日、科学技術担当による初の閣僚級会合をオンラインで開き、連携に向けた議論を本格化させる。

QUAD 日米豪印サミット

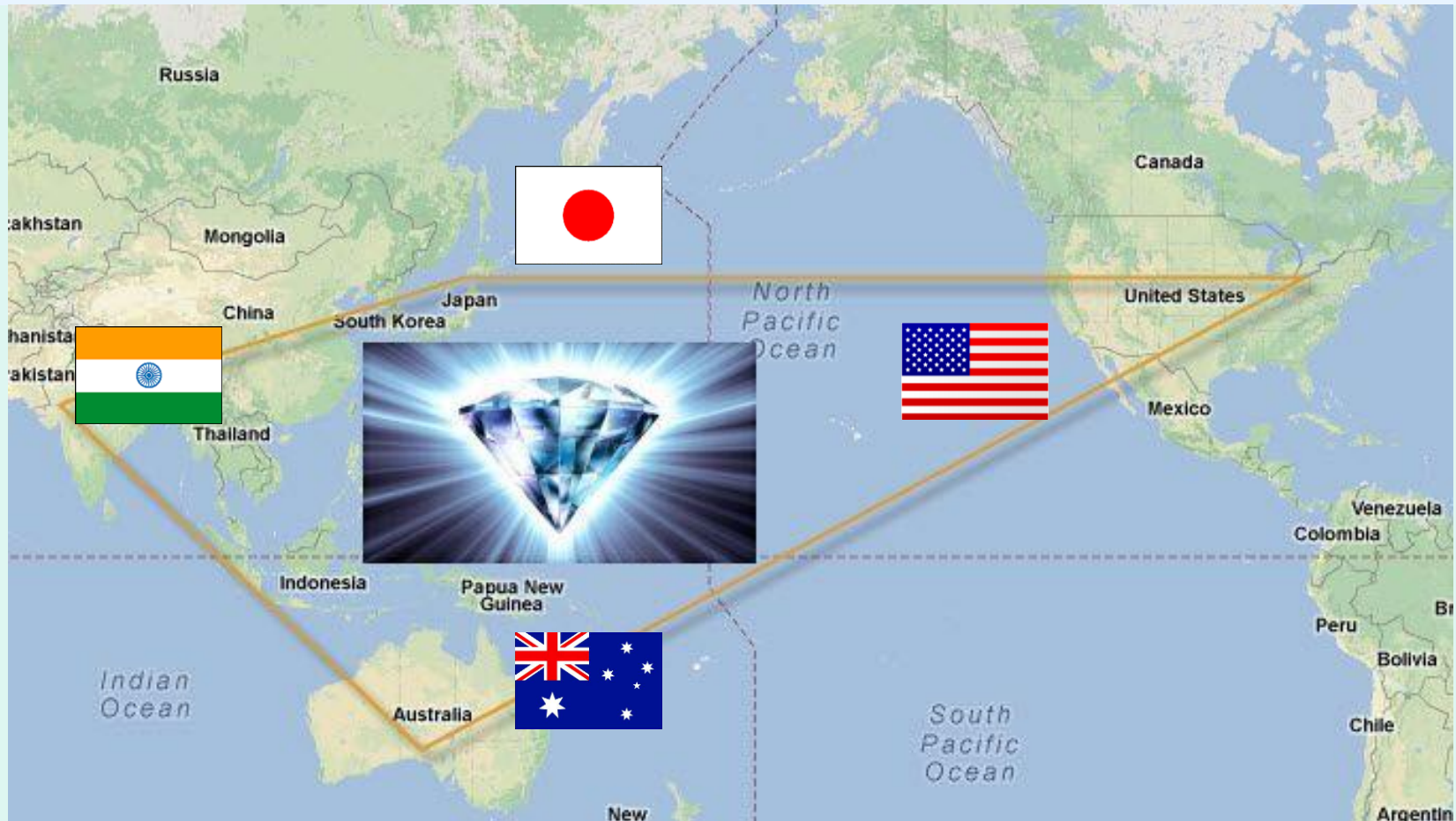
(Hiroshima on 20/May/2023)



Quadrilateral Security Dialogue (QSD), also known as the **Quad**
Together, we recommit to promoting the free, open, rules-based order, rooted in international law and undaunted by coercion, to bolster security and prosperity in the Indo-Pacific and beyond.

Asia's Democratic Security Diamond

proposed by the late ex-PM Mr. Shinzo Abe in 2012



Japan, as one of the oldest sea-faring democracies in Asia, should play a greater role – alongside Australia, India, and the US – in preserving the common good in both regions.

G7首脳会合

(Hiroshima、2023年5月19日)



G7メンバー国: カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、
日本、英国、米国

参加機関・団体: EU委員会、欧州理事会

英国史上初!!

非白人、非キリスト教徒の首相が誕生！



リシ・スナク Rishi Sunak インド系ヒンドゥー教徒

グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の政治家。
第79代首相(2022年10月25日就任)

G7 (May'23) and G20 (Sep'23)

Hiroshima New Delhi

G20

G8

G7



Canada



France



Germany



Italy



Japan



United Kingdom



United States of America



Russia



Argentina



Australia



Brazil



China



European Union



India



Indonesia



Mexico



Saudi Arabia



South Africa



South Korea



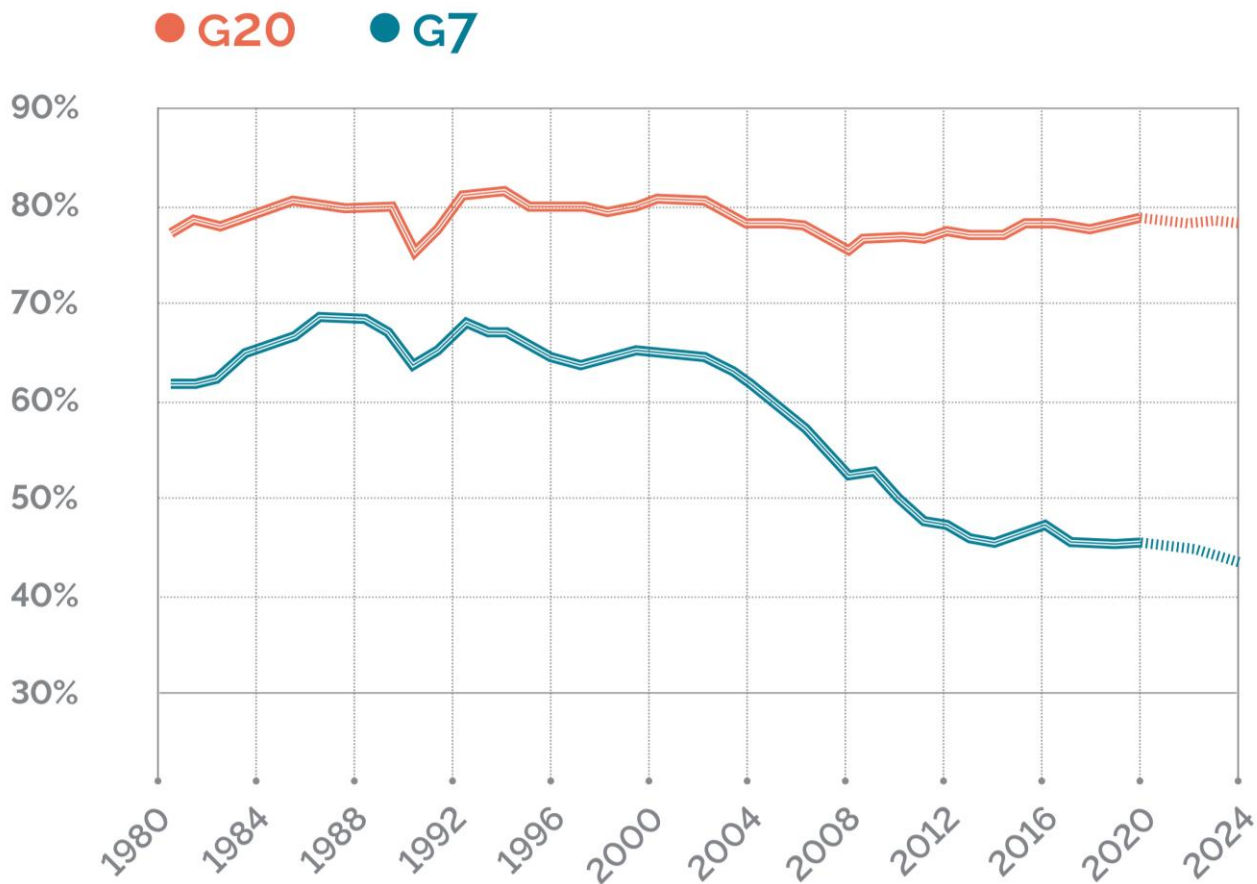
Turkey

G7 and G20

G20 vs G7

ISPI

PERCENTUALE DEL PIL MONDIALE DEI DUE GRUPPI DI PAESI



なぜインドなのか？(その④)

THE PARADISE



Learn More
~Brahmin monk Bodhisena, the First Indian Come to Japan~



もつと知ろう、
日本に初めて来たインド人、
婆羅門僧菩提僊那を継承する

菩提僊那大僧正が常駐
していた奈良市大安寺

東大寺の大仏開眼導師をつとめた菩提僊那と継承事業

インドで生まれ、日本で育った仏教

THE PARAPPA



Learn More

~Brahmin monk Bodhisena, the First Indian Come to Japan~



もつと知ろう、
日本に初めて来たインド人、
婆羅門僧菩提僊那を継承する

菩提僊那大僧正が常駐
していた奈良市大安寺

東大寺の大仏開眼導師をつとめた菩提僊那と継承事業



Three Wise Monkeys(三猿)



「見ざる、言わざる、聞かざる」



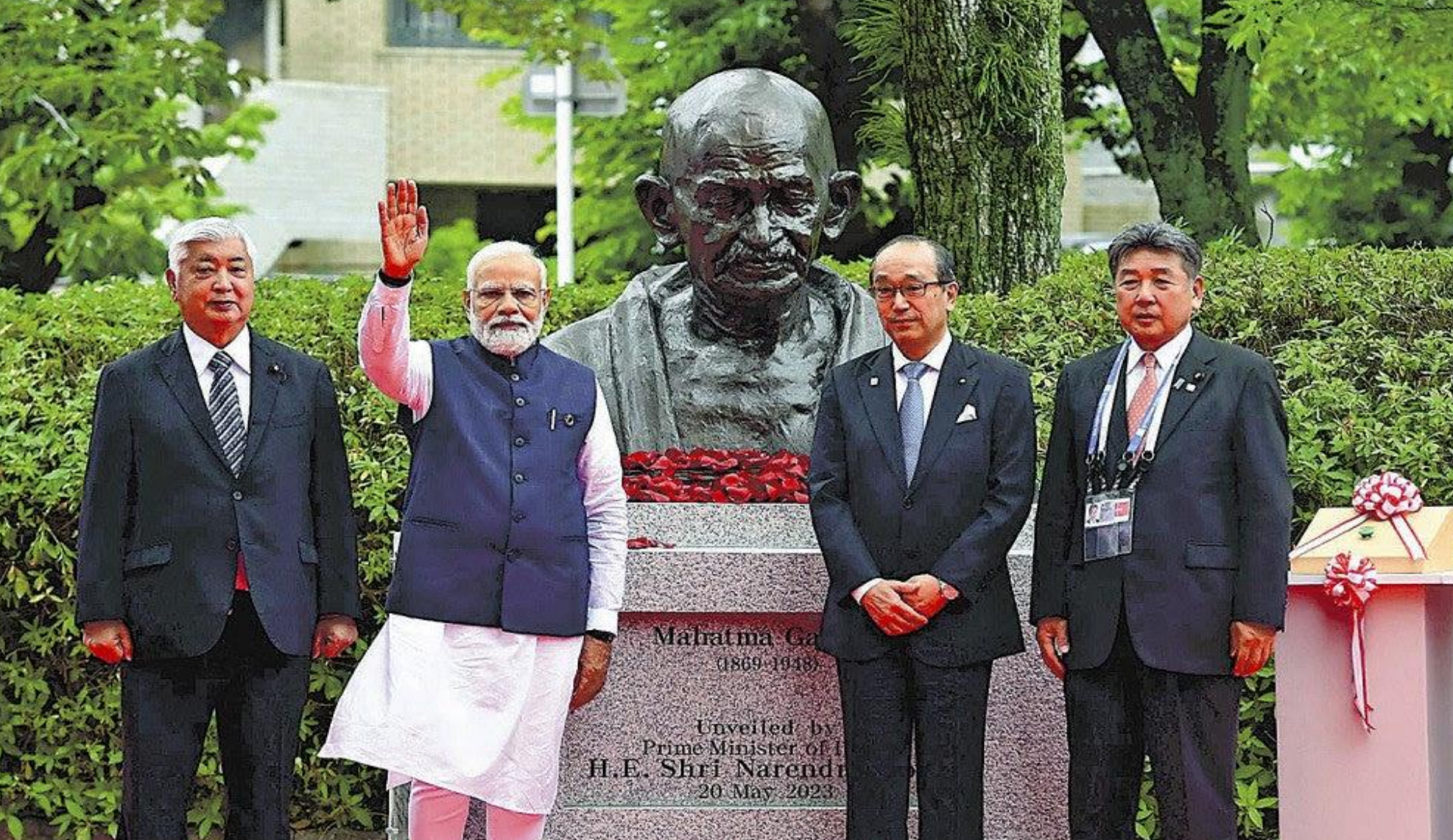
The Three Wise Monkeys



“Speak No evil, See No evil, Hear No evil”



Statue of Mahatma Gandhi Ji
at Sugunami Library, Tokyo, Japan



Statue of Mahatma Gandhi Ji

*unveiled by PM Modi on 20th May, 2023 at
Peace Memorial Park, Hiroshima Japan*

大聖院(広島県厳島宮島町)



弁財天

(Sarasvati)

サラスヴァティ

歓喜天

(Ganesha)

ガネーシャ

多聞天

(Kubera)

クベーラ

七福神は外国の神様？

をもたらしとされている七福神。日本では馴染み深い信仰の対象ですよね。
も、七福神のほとんどが外国出身の神様だって知っていましたか？
国の神様が仏教に取り入れられ、姿かたちを変えて七福神になったようです。



七福神の中で**日本起源は一神**だけ。

恵比寿天。六神は中国起源の3神とインド起源の3神である。

弁財天(サラスヴァティ)、毘沙門天(クベーラ)、

大黒天(マハーカーラ)

なぜインドなのか？(その⑤)

インドにあって日本にないもの

- ①グローバル企業で登用されるリーダーシップを備えた人材
(それを輩出する世界が注目する理工系大学の存在)
- ②グローバル企業で通用する英語力
ITのソフト開発や論理的思考力に役立つ数学力
- ③インド人独自の思考法「**ジュガール(Jugaad)**」
(モノがない逆境の中で生まれた革新的なモノづくり)
- ④失敗を恐れずチャレンジする「**カルマ**の哲学」
- ⑤「会社のブランド」よりも「自分のブランド」をアピールする
- ⑥ハイリスク・ハイリターンのタフな交渉術
- ⑦ヨーガ・瞑想によるストレスマネジメント

磯貝：インドには**アーユルヴェーダ**という伝統医学もある！

「カオスが生む才能 インド」

登場するインド人VIPs

- グーグル CEO スンダル・ピチャイ
- マスターカード 会長 アジェイ・バンガ
- マイクロソフト インド元CEO ラビ・ベンカテサン
- マイクロソフト CEO サティア・ナデラ
- ペプシコ 前CEO インドラ・ヌーイ
- IBM CEO アービンド・クリシュナ
- 米国 副大統領 カマラ・ハリス
- 亀田製菓** 副社長 レカ・ジェネジャ

インドで生まれ変わった「柿の種」



そのインド名は**KARI KARI** 味は4種類
Garlic CHILLI, **SPICE Mania**,
Salt & Pepper, **Wasabi**

「ジュガール(Jugaad)」とは？①

『大富豪インド人のビリオネア思考』(フォレスト出版)

著者: サチン・チョードリー (経営コンサルタント)

「ジュガールは広範に及ぶため、一言で表わすのは難しい。
あえて訳すとすれば、いろいろなアイデアをベースに最短で
解決策にたどりつこうとする思考や行動、手法、方法のことです。

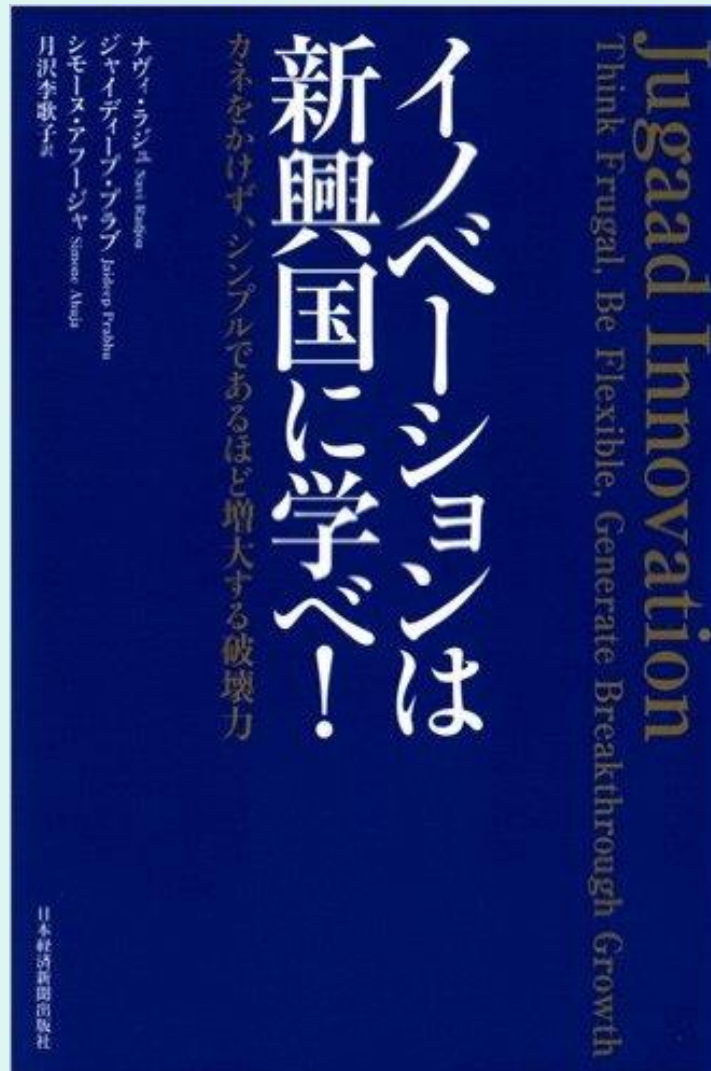
貧富の差が激しいインドでは政府のインフラサービスが満足でない地区が
多い。

それでも貧困地区の人々は、創意工夫で都市部と大差ない生活を営んで
いる。

そこにジュガールの知恵が隠されています」

「ジュガール(Jugaad)」とは？②

真剣に学びたい人の教科書



Jugaad Innovation

イノベーションは新興国に学べ!

カネをかけず、**シンプル**であるほど増大する破壊力

2013/8/23

ナヴィ・ラジュ (著),
ジャイディープ・プラブ (著),
シモーヌ・アフージャ (著),

月沢 李歌子 (翻訳)

「ジュガール(Jugaad)」とは？③



「アーユルヴェーダ (Ayurveda)」とは？

『美しく豊かに生きる』 2003年1月 出帆新社

著者： イナムラ・ヒロエ・シャルマ (日本初のアーユルヴェーダ医師)

アーユルヴェーダはサンスクリット語で「生命を守り、育てる知恵」
「完璧な長寿を達成する知識」

「アーユルヴェーダ医学、ユナナーニー医学、中国医学などの伝統医学は、人間をトータルに扱い、心身及び魂までも一体化し、ホリスティックな立場で、人の病気と健康をとらえ対処しています。」

「西洋医学の即効性と副作用の問題、伝統医学の遅効性と安全性という特徴を考えると、世界の伝統医学と現代医学の協調と共同開発がますます必要になる時代がこれからやってくると思います。」

磯貝： インドのヨーガとアーユルヴェーダに頼るしかない！

なぜインドなのか？(まとめ)

① 世界一の人口を擁する成長市場

優秀なインド人材が日本を救う（ICT、介護ほか）

② 日印は過去から同盟関係にあった

インドは親日国、昔はインパール作戦、今はQUAD

③ 仏教の下で崇拝されたヒンドゥー教の神々

弁財天、吉祥天、帝釈天、歓喜天(聖天)ほか

④ 一見真逆に見えるが、補完し合える友人

ハードに強い日本、ソフトに強いインド

⑤ ビジネスはタフだが、友人関係が優先

学生間交流で両国の信頼関係の基盤を構築できる

世界シェア首位、日本勢7品目どまり

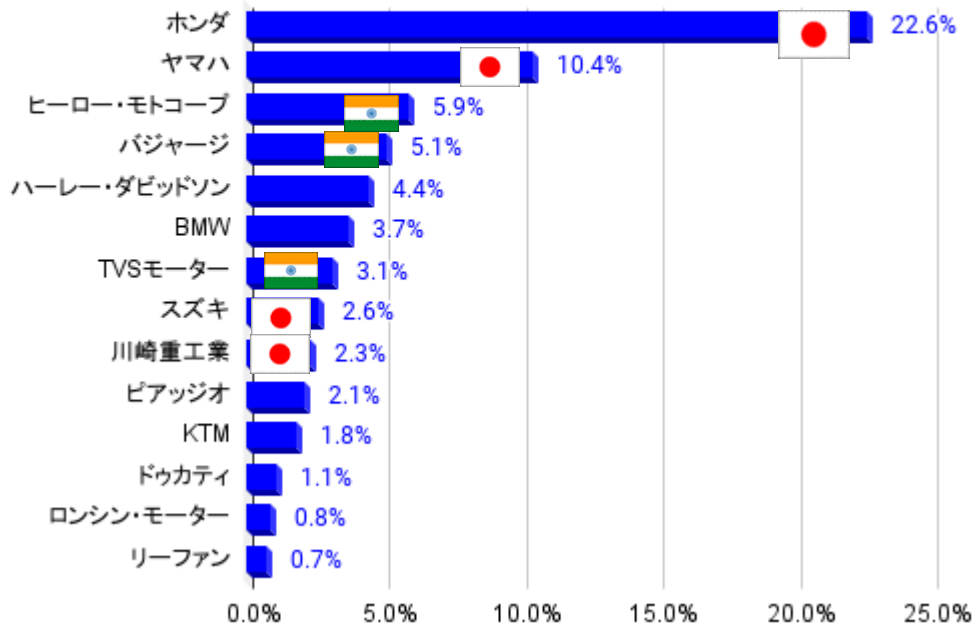
2021年の主要商品・サービスシェア調査

- 日本企業の首位は7品目で2020年から横ばい
自動車、自動二輪(インド2位)、デジタルカメラ、A3レーザー複写機・複合機、CMOS画像センサー、携帯用リチウムイオン電池、偏光板
- 首位交代は4品目
バイオ医薬品、医療用医薬品、コンテナ船、A3レーザー複写機・複合機
- 日本、成長分野で存在感薄く
バイオ医薬品は21年の市場規模が前年比36%増、医療用医薬品も18%増と成長分野だが、上位企業には日本勢は少ない。
- 日本勢が首位3位まで独占した2品目
デジタルカメラ、A3レーザー複写機・複合機
デジタルカメラは3社のシェアが8割を超すが、21年の出荷は20年比4%減。
- 半導体製造装置では[東京エレクトロン](#)が3位浮上。

世界シェア首位、日本勢7品目どまり

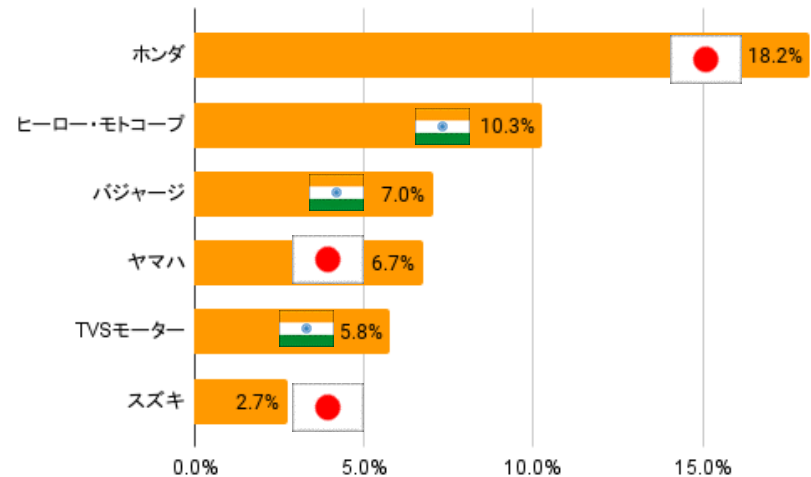
自動二輪のメーカー別シェア(2021年)

オートバイ・バイク業界の世界シェア(2021年)



オートバイ業界の世界シェア(販売数量ベース、2020年)

◎業界再編の動向



オートバイとバイク世界市場
日本とインドが2強

2021年もホンダが圧倒的な強さを見せて、1位の座を堅守しています。

2位はヤマハと日本勢で1位と2位を独占です。

3位と4位にはついにインド勢のヒーロー・モトコープとバジヤージです。数量だけでなく、金額ベースでも根強い人気を誇る米国のハーレー・ダビッドソンを抜きました。

2022年7月22日 deallab

ブランド価値世界ランキング2023

ブランド・ファイナンス・インディア100

- タタ・グループは前年に続き、インドのトップブランド
インド企業が世界ランク500に初めてランクイン
タタ・グループがデジタル化と多様なポートフォリオでトップ100入り
- IT大手インフォシスがインド総合2位
ITサービス分野では2位(タタ・コンサルタンシー・サービスが1位)
- 自動車でマヒンドラ、タタ、マルチ・スズキは2桁の伸び
電気革命への推進力とパンデミック後の潜在的需要の高まり
- 金属分野ではタタ・スチール他が力強い成長
インフラ、グリーンフィールド投資の復活

同ランキングは、総合的なブランド価値の測定に加えて、マーケティング投資、親しみやすさ、ロイヤルティー、スタッフの満足度、企業の評判などの要素に基づき、ブランドを相対的に評価している。

日本とインドの違い(1/2)

① 時間感覚

インドと日本ではここに一番大きなギャップがある

② ルールや規則への心構え

なぜインド人はルールを尊重しないのか？

③ 社会性と価値観

個人(家族)優先と集団(他人)優先

④ リスク管理

慎重派と楽観派

⑤ プロジェクトの進め方

最初から最後まで違う

日本とインドの違い(2/2)

⑥ ハードとソフト

日本とインドでは得意技が違う

⑦ 単言語と多言語

言語学習能力は民族によって異なるのか？

⑧ 単民族と多民族

同質と異質(=違っていて当たり前)

⑨ お互い様

目指すところの違い

⑩ プロセス重視と結果重視

インドのJugaad(ジュガール)とは？

ビジネスを成功させるヒント インドとの付き合い方10ヶ条

by Tomio Isogai

Do's

やっても
いいこと

&

Don'ts

やってはい
けないこと

インドとの付き合い方10ヶ条

Do's & Don'ts ①

by Tomio Isogai

5Do's

- ・ 先ずTOP同士の合意を取り付ける
- ・ 最初は広く浅く、相手を良く見極める
- ・ 時間感覚の違いを受け入れる
- ・ 相手の宗教を尊重する
- ・ 家族最優先であることを受け入れる

インドは一様でないことを理解する

インドとの付き合い方10ヶ条

Do's & Don'ts ②

by Tomio Isogai

5Don'ts

- ・ “No problem”は当てにしていけない
- ・ 契約に100%頼ってはいけない
- ・ 前広の約束はしない
- ・ ドタキャンを非難しない（損害は請求する）
- ・ 裁判沙汰にしない（交渉で解決する）

予期せぬ展開にうろたえない

JV(合併)とMSE(零小企業) ビジネスを成功させるために

by Tomio Isogai

JV(合併)

- ・最初の一年はとにかく大株主に従う
- ・合意するまでトコトン話し合う
- ・記録を保持し、いつでも参照できること

MSE(零小)

- ・トップ同士の親和性を確認すること
- ・社是やビジョン&ミッションの共通点
- ・シナジーが得られることの確認(ジュガール)

日本を経験したインド人を雇うこと

失敗しないための「5 A」

by Tomio Isogai

1A あ せらず

2A あ てにせず

3A あ などらず

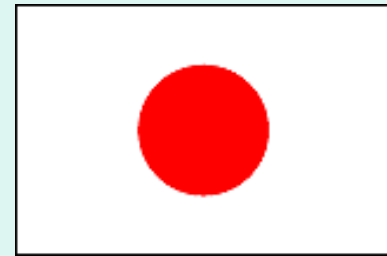
4A あ たまにきても

5A あ きらめず

世界中どこにでも通用する心構え



結論として



強い絆で結ばれた友人を増やそう

Friends' friends, friends

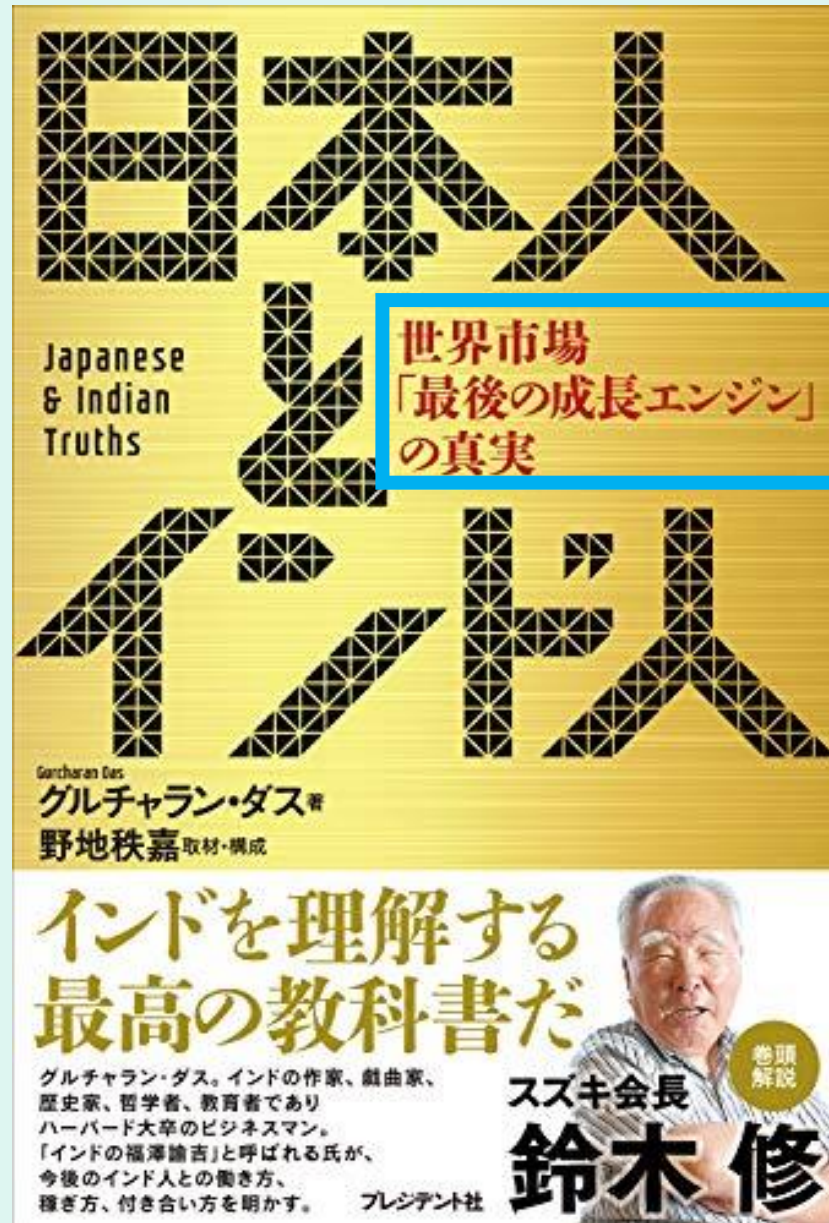
友達の友達は友達

IQとEQのバランス感覚

IQは当然必要、EQも非常に重要

日本はEQ重視、インドはIQ重視

「インドを理解する最高の教科書」



(プレジデント社 2020年5月)

最近のインドを知るために



第一章 多様性のインド

世界最大の民主主義国家

第二章 モディ政権下のインド経済

第三章 経済の担い手

主要財閥、注目の産業

第四章 人口大国

若い人口構成、人材の宝庫

第五章 成長の陰に

貧困と格差、環境

第六章 インドの中立外交

中国、パキスタン、ロシア、米国とのはざまで

第七章 日印関係

現状と展望

(中公新書 2023年9月)

新しいアジア外交に向けて

「美しい国へ」 安倍晋三(元首相)

インドの人口は現在十億人余りだが、将来はもっと増加して、いずれ十六億に達するといわれる。インドには勤勉で優秀な人たちが多く、IT分野ではアジアの先進国のひとつである。**インドとの関係をもっと強化することは、日本の国益にとってもきわめて重要だ。**

かつてわたしの祖父の岸信介がインドを訪問したとき、ネール首相が、来印を歓迎する群衆にむかって、「いままで宗主国のイギリスにはかなわないと思っていたが、日本は、日露戦争でロシアに勝った。私もインドの独立に一生を捧げる決心をした」と、演説したことがあるが、**インドの世論調査では、親しみを感じる国のナンバーワンに、つねに日本があがる。**

だが、残念ながら日本との交流は薄く、経済関係も希薄だった。いままでは、“片思い”の関係にあったことは否めない。しかし、十年前、日中の貿易量が、香港をいれて日米を上回るとは誰も予想していなかったように、**十年後に日印関係が日米、日中を上回ったとしても、けっしておかしくない。**

日本とインド(1/2) 両議長国 秩序再建担う

田中明彦 JICA(国際協力機構)理事長

「日本がインドを重視すべき理由はいくつもある。」

「まずインドは今年の主要20か国・地域(G20)議長国である。G20は欧州連合(EU)と世界19の諸国が一堂に会し、国連を始めとする国際機関も参加する枠組みである。」

「G20諸国の国内総生産(GDP)を合計すると世界経済の8割以上を占めており、国際秩序のあり方に大きな影響力を持つ。G7とG20の協調がいまや不可欠といえる。」

「要は、日本はインドと手を携え、ロシアのウクライナ侵略で傷を負った国際秩序の再建に向け、世界各国の見解をとりまとめていかなければならないということだ。」

「日本にはインドとの関係を重視すべき長期的理由がある。それは、インドが近い将来、超大国として立ち現れることがほぼ確実だということだ。」

日本とインド(2/2)長期友好へ人の交流拡大

「インドが超大国となった時に日印関係が盤石かどうか、心配な点がないわけではない。」

「第一は、日本の民間企業のインド進出にいささか消極的な点がみられることである。ここ数年、インドにおける日本の企業数は横ばいで推移している。日印両政府ともに環境整備に努めなければならない。」

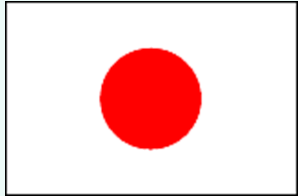
「第二の懸念材料は日印の人的交流の少なさだ。中国を訪問した日本人は2019年に268万人だったのに対し、インドを訪れたのは24万人にとどまった。中国人留学生が11万人以上いるのに対して、インド人留学生は1692人しかいない。」

「次世代を担う、インドの若者に日本の大学がより魅力的に映るよう、日本を挙げて努力することが、長期的な日印関係の深化には不可欠だ。」

日本にはインドしかない！

もっと広げ深めよう

日印の絆



2018年度春季「グローバルリーダー養成塾」@プネ